



冬季スポーツ特集

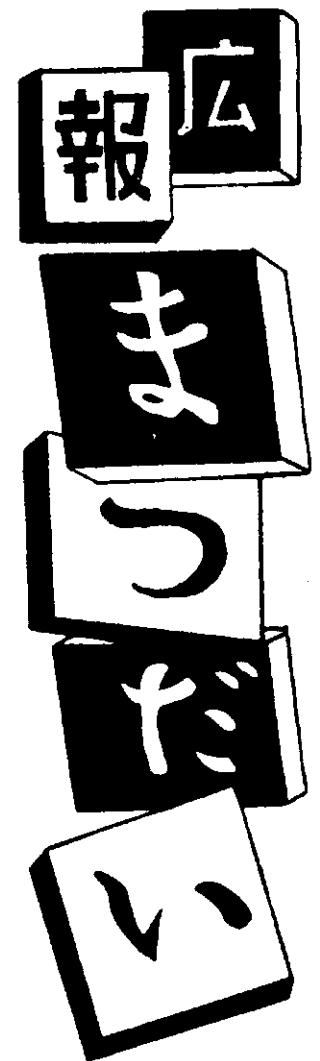
(写真 一般スキー大会大回転・少林寺山スキー場で、関谷八郎氏撮影)

2月は松代町でもスキー大会が盛んでした。

恒例のスキー大会も、あと3月上旬に予定されている城山滑降大会と、昨年優秀な成績でその名を高くした松代小学校選手の、信越親善スキー大会など出場が残されており、ほかは予定どおり盛況に終了いたしました。

特記すべきは、総合的な技術の向上はもちろんですが、松代高等学校の選手の活躍、万羽琢也君(松代中1学年)の県代表での全国大会出場、松之山スキー競技大会では松代町が上位入賞をさらう等々成果の大きいシーズンでありました。

(1)



昭和51年2月25日発行

号 外

新潟県松代町公民館

電話 松代 301 番

印刷・松代印刷所

小・中学生距離で活躍

松代町が総合優勝三連覇

(一般)

松之山スキー競技大会

第二七回松之山スキー競技大会は、好天に恵まれた二月八日に、松之山温泉スキー場で盛大に開催された。

松之山スキー競技大会成績

(松代町関係)

距離競技

競技種目は、距離、リレー、大回転、回転で、松代町からは、小中・高校生・一般者合せて百三十七名が出場、大会前から話題になっていた、成年の部の総合優勝を松代町がみごと成し遂げるなど各種目毎に好成績を納めた。又、松代町からの応援者も多く、何処へ行っても松代町の顔があり、さな

から松代町スキー大会の感じがしないでもない状況だった。

◇幼女B一位関谷秀子(菅刈分校) 二位山賀和美(小屋丸分校) 三位高野良子(松代小学) 四位柳和子(菅刈分校)

◇幼女A一位五十嵐まり子(松代小学) 二位中村知恵美(松代小

冬を楽しくと言っても一月中旬から下旬にかけて降ったような大雪に出会うと全く大変だ。雪国はいやだと思ってしまうが、そのあとの平穏な日々が続くとスキーを楽しむ人の姿が多く見られるようになり、雪国ならではの感を抱くようになる。

何事も過ぎることはよくないの

で、私達があれば程よいよと思っ

ている晴天も、長く続くと思っ

魅で飲み水がなくなる、田甫

が地割れして減収するなど生

活の根本をゆるがす被害が出

てくる、その時は雨が欲しく

なる、かと言って長雨が続き

冬を楽しく



て利益を上げていけるし、県内の上越沿線、信越沿線では観光を兼ねたスキー場が各地にあります。

この土地では極端に言えば、玄関先からスキーがすべれる土地です。くどいても、くどかなくても

どうせ降る雪なら、これをレジャー、レクリエーションなど楽しむ

ために、又、健康増進のためのスポーツに役立てることが賢いやり

方ではないかと思えます。

スキー、雪の芸術作品、古

来からの伝統的な行事などは、

雪を利用し、冬を征服するに最も

もふさわしいものと思えます。

幸い松代区のお骨折りで少林

寺山スキー場が整備され、毎日賑

々しています。今年、全日本スキー連盟公認の

パッチテストが実施できるまでに整備され二月二十二日に少林寺山

学)市川絵里(松代小学)五位瀬沼棟子(松代小学)

◇幼年B一位佐藤純一(松代小学) 二位高橋和彦(菅刈分校) 三位高橋英利(菅刈分校) 五位市川雪政(小屋丸分校)

◇幼年A一位富沢博幸(松代小学) 二位市川義久(松代小学) 三位柳知(松代小学) 五位柳利光(菅刈分校)

◇少女一位山賀順子(松代中学) 二位菅井玲子(松代中学) 三位石口富子(松代中学) 四位室岡輝世美(松代中学)

◇少年一位関谷浩好(松代中学) 二位関谷武久(松代中学) 三位市川正美(松代中学) 四位五十嵐保(松代中学)

◇高校・成年一位関谷馨(松代高校) 三位西方武市(千年) 四位山賀正一(松代高校) 五位柳健司(松代高校)

大回転競技

◇幼年A一位山岸正文(松代小学)

◇幼年B五位相沢忠(松代小学)

◇第二壮年三位樋口政栄(松代)

四位樋口堅一(松代)

◇高校二位竹内賢司(松代高校)

三位樋口勇(松代高校) 四位村山信吾(松代高校)

◇成年一位竹内修一(浦田) 二位相沢哲夫(松代)

◇第一壮年三位鈴木洋一(松代)

四位関谷松雄(松代)

◇少年一位若月等(松代中学)

二位関谷毅(松代中学)

回転競技

◇高校一位樋口勇(松代高校)

二位村山信吾(松代高校)

◇成年二位竹内修一(浦田) 三位相沢哲夫(松代) 四位石口博雄(松代)

◇第一壮年三位飯塚治雄(松代)

四位鈴木洋一(松代)

◇少年三位山岸正孝(松代中学) 四位関谷毅(松代中学)

◇幼年A一位関谷正博(松代小学) 三位相沢一(松代小学) 四位宮沢利孝(下山分校)

◇幼年B一位相沢忠(松代小学) (次頁へ続く)



松之山スキー競技大会から
相沢守氏撮影
「上」表彰を受ける松代町の選手……
…… カップを手に万才。
「左」チビッ子大活躍
距離競技風景

二頁より続く
三位市川清（松代小学） 五位柳研一（松代小学）
◇第二壮年三位富沢恭松（松代）
四位平沢清（松代）
リレー競技

◇幼年一位松代小学校A（富沢博幸、柳知、ぐみ沢竜彦、柳利光）
三位松代小学校B（市川義久、関谷修、樋口良夫、佐藤純一）

◇幼女一位松代小学校A（五十嵐まり子、樋口俊子、柳美佐江、中村知恵美） 二位松代小学校B（柳みどり、市川絵里、品田由紀子、高橋清子）

◇少女一位松代中学校A（矢代寿美子、菅井玲子、山賀順子） 二位松代中学校B（小塚文江、相沢幸子、南雲元子、室岡輝世美）

◇高校・成年一位松代高等学校（関谷馨、山賀正一、柳健司、山岸正也） 三位松代町スキー協会B（高橋一、西方武市、牧田義雄、樋口堅一） 四位松代町スキー協会A（武田芳夫、佐藤信一、高橋博

菅井正一）
◇少年一位松代中学校A（柳時夫、五十嵐保、市川正美、関谷浩好） 二位松代中学校B（柳淳敏、樋口一久、市川司、関谷武久）

総合優勝

◇高校組Ⅱ松代高等学校
◇成年組Ⅱ松代町スキー協会
◇壮年組Ⅱ松代町スキー協会

継走で第十六回松代町スキー大会

継走で松代町商工会青年部が優勝

松代町スキー協会主催、松代町教育委員会、松代町公民館後援の第十六回松代町スキー大会は二月一日好天に恵まれ、少林寺山スキー場附近一帯で盛大に開催された。町スキー協会長（富沢清次）の開会のあいさつに始まり、午前は大会、回転、午後は、婦人レ



ス、大会の花形駅伝にはオーブン参加も含めて二十一チーム六十三名という空然の大量参加により、若人（準ロートルを含む）が覇権を競った。又呼びものの宝さがしもあって大勢の観客で賑い、地元松代区長（柳貞輔）の閉会のあいさつで幕を閉じた。 次頁へ

松代町スキー大会結果

大同転

◇青年の部一位鈴木孝雄(松代)
二位山岸進(蒲生) 二位小堺惠吉(蒲生) 四位石口博雄(松代) 四位瀬沼伸彦(松代) 六位市川正(松代)

◇第一壮年の部一位村山市郎(松之山) 二位鈴木昭平(松代) 三位飯塚治雄(松代) 四位鈴木洋一(松代) 五位石田忠義(松代) 六位関谷松雄(松代)

◇第二壮年の部一位本柳彰造(仙納) 二位関谷忠吉(松代) 三位樋口堅一(松代) 四位中沢利明(諏訪峠) 五位関谷政一(松代) 六位矢代午三(松代)

◇青年の部一位鈴木孝雄(松代) 二位山岸進(蒲生) 三位市川正(松代) 四位石口博雄(松代) 五位相沢哲夫(松代) 六位瀬沼伸彦(松代)

◇第一壮年の部一位村山市郎(松之山) 二位鈴木洋一(松代) 三位関谷松雄(松代) 四位柳武夫(十日町) 五位関谷正次(太平)

松代町小・中学校スキー大会結果

期日・2月4日
会場・少林寺山スキー場
主催・松代町教育振興会

＜上位3位までの入賞＞

6 学年	①山賀 和美 松代小 ③高野 良子 〃 ①五十嵐まり子 松代小 ②中村知恵美 〃 ③柳 美佐江 〃	回転=小学校男子	5 学年	①相沢 忠 松代小 ②若月 英樹 〃 ③市川 清樹 〃 ①佐藤 稔 孟地小 ②関谷 正博 松代小 ③柳 雅樹 〃		
回転=中学校男子	1 学年	①佐藤 透 奴奈川中 ②小堺 久吉 山平中 ③山岸 正文 奴奈川中	大回転=小学校男子	5 学年	①相沢 忠 松代小 ②柳 研一 峠小 ③江口 実一 松代小 ①相沢 文行 孟地小 ②佐藤 正博 松代小 ③関谷 正博 松代小	
2 学年	①若井 吉見 松代中 ②山岸 等 山平中 ③牧田 修司 奴奈川中	大回転=中学校男子	6 学年	①石野 若子 峠小 ②中沢真理子 〃 ③平沢奈麻美 松代小		
3 学年	①谷沢 修 奴奈川中 ②牧田 豊 〃 ③山本 明人 孟地中	1 学年	①小堺 久吉 山平中 ②山岸 正文 奴奈川中 ③佐藤 俊明 〃	6 学年	①関谷 栄子 〃 ②武田智恵子 〃 ③佐藤 和美 峠小	
大回転=中学校男子	2 学年	①関谷 毅 松代中 ②若月 等 〃 ③牧田 修司 奴奈川中	2 学年	①関谷 毅 松代中 ②若月 等 〃 ③牧田 修司 奴奈川中	男子	①松代小学校 A ② 〃 B ③孟地小学校 〃
1 学年	①小堺 久吉 山平中 ②山岸 正文 奴奈川中 ③佐藤 俊明 〃	3 学年	①山岸 正孝 松代中 ②牧田 益夫 奴奈川中 ③谷沢 修 〃	女子	①松代小学校 A ② 〃 B ③室野小学校 〃	
大回転=中学校女子	1 学年	①松山百合子 孟地中 ②牧田 輝代 奴奈川中 ③小堺千賀子 山平中	距離=小学校男子	5 学年	①佐藤 純一 松代小 ②高橋 和彦 〃 ③山賀健一郎 〃	
2 学年	①小堺 美幸 山平中 ②牧田智加子 奴奈川中 ③若山ます子 山平中	6 学年	①市川 義久 松代小 ②関谷 修 〃 ③市川 英明 〃	距離=小学校女子	5 学年	①関谷 秀子 松代小
3 学年	①柳 美詠子 孟地中 ②関谷 道子 松代中 ③米持久美子 奴奈川中	3 学年	①柳 美詠子 孟地中 ②関谷 道子 松代中 ③米持久美子 奴奈川中	5 学年	①関谷 秀子 松代小	

次頁へ続く

松代高等学校選手の記録

上越スキー選手権

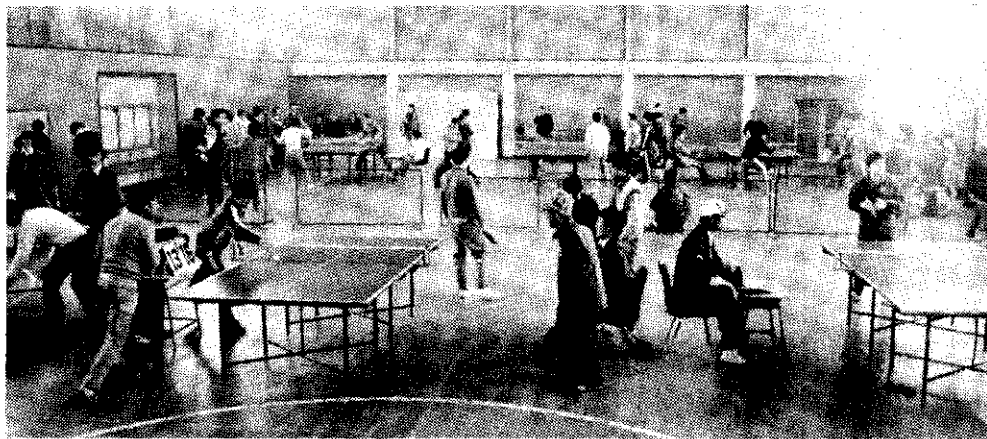
期日 1月10日～14日
会場 池之平スポーツハウスグラウンド
成績
高校距離15Km
3位 佐藤秀隆 5位 関谷 馨
一般女子距離
5Km 6位 樋口美枝子
10Km 6位 〃
40Kmリレー 高校の部
1位
(関谷馨・山賀正一・佐藤秀隆・柳健司)
20Kmリレー 一般女子の部
2位
(柳うた子・武田久子・樋口美枝子・樋口亮子)
アルペン 回転 少年の部
10位 村山信吾

新潟県スキー選手権

期日 1月16日～17日
会場 池之平スポーツハウスグラウンド
成績
40Kmリレー 高校の部
7位
(関谷馨・山賀正一・佐藤秀隆・柳健司)
20Kmリレー 高校の部
5位
(柳うた子・武田久子・樋口美枝子・樋口亮子)

◇第二壮年の部一位関谷忠吉(松代) 一位中沢利明(諏訪峠) 三位樋口堅一(松代) 四位関谷政一(松代) 五位矢代午三(松代) 五位樋口良平(松代)
◇婦人レース一位石口久子(松代) 二位小島ケイ(松代) 三位関谷光子(松代) 四位柳ハルエ(松代) 五位高野歌子(松代) 六位池田美津子(松代)
一位松代町商工会青年部C 二位松代小学校三位土木松代分所スキークラブ 四位松代町役場体育部A 五位松代町商工会青年部B 六位松代町役場体育部B
区間タイム(駅伝継走)
一位西方武市(千年) 二位牧田義雄(峠) 三位樋口堅一(松代) 四位高橋一(助平) 五位山賀茂(小荒戸) 六位佐藤幸治(竹所)

“役場勢が圧勝,, 第10回町内卓球大会



恒例の第十回町内卓球大会は、二月十五日、堂々十八チームの参加を得て、松代小学校体育館において開催されました。試合は、午前に団体戦午後個人戦が行なわれました。団体戦は十八チーム百数十名の参加とあって、珍プレーや模範プレーが随所に見られ、また個人戦には七十余名が出場し、盛大に楽しくその一日を終了いたしました。

成績は役場勢が圧勝し、団体戦では三連勝を飾りました。

男子	①松代中学校	A
	② "	B
	③奴奈川中学校	A
女子	①松代中学校	A
	② "	B
	③奴奈川中学校	A
距離二中学校男子		
1学年	①関谷 武久	松代中
	②高橋 竜也	"
	③富沢 石一	"
2学年	①五十嵐 保美	"
	②市川 政美	"
	③若井 聡	"
3学年	①中条 光夫	奴奈川中
	②市川 実	松代中
	③五十嵐 俊幸	奴奈川中
距離二中学校女子		
1学年	①石口 富子	松代中
	②中条 正美	奴奈川中
	③相沢 幸子	松代中
2学年	①山賀 順子	"
	②関谷 貴代美	"
	③室岡 輝世	"
3学年	①山岸 悦子	山平中
	②小塚 仁伊	"
	③中村 光江	清水中

成績は次のとおり。
団体 六位まで

- 一位 役場体育部 A
 - 二位 松代青年クラブ
 - 三位 役場体育部 B
 - 四位 室野
 - 五位 土木 A
 - 六位 ポストマン A
- 個人
- 青年の部 六位まで
 - 一位 柳 善雄 (役場)
 - 二位 高橋 高一 (")
 - 三位 柳 利彦 (")
 - 四位 高橋 利夫 (農協)
 - 五位 池田 猛 (役場)
 - 六位 柳 裕 (役場)
- 壮年の部 三位まで
- 一位 池田 猛 (役場)
 - 二位 高橋 徳 (高校)
 - 三位 鈴木 幸紀代 (役場)
- 女子の部 三位まで
- 一位 関谷 ふじえ (役場)
 - 二位 中村 久美子 (病院)
 - 三位 富沢 富子 (")

スキー バッチテスト結果



全日本スキー連盟公認のスキーバッチテストが、二月二十二日少林寺山スキー場において開催されたのとおり認定されました。

この資格はその人々のスキー技能が認められたもので、準指導員・指導員の資格を得るための基本となるものです。

一級合格者 二名
関谷 毅 (中学生) 樋口 逸郎 (高校生)

二級合格者 二三名
小塚 広和 石口 達吉 武田 芳夫 佐藤 徹夫 土屋 芳徳 本柳 彰造 関谷 松雄 (以上一般七名)

田辺 和幸 若月 清一郎 関谷 政光 佐藤 行夫 齊木 成一 品田 靖 井上 信男 竹内 賢司 高沢 昭夫 山岸 保 畔上 健一 (以上高校生一名)

若月 等 関谷 智 関谷 哲 (以上中学生三名)

相沢 一 相沢 忠 (以上小学生二名)

三級合格者 一五名
富沢 恭松 若井 好平 平沢 清 矢代 午三 千葉 幸嗣 本多 隆道 島田 実 上原 正雄 若井 武徳 伊藤 久雄 小幡 芳文 樋口 堅一 樋口 良平 (以上一三名)

齊木 佳子 (高校生) 福原 浩之 (中学生)

商工会珠算検定

1・2級合格者は
ありませんでした

第42回商工会珠算検定が2月15日松代中学校で行なわれました。

受検者は延二四三名で合格者一名 (合格率四一・六%) でしたが二級以上の合格者はありませんでした。

合格者 三級 8名 四級 13名
五級 16名 六級 23名
七級 29名 八級 12名

なお、六級合格者に満点合格者一名ありました。

昭和50年度交通災害共済加入状況

区分 字名	昭和50年度		区分 字名	昭和50年度	
	加入者数	加入率		加入者数	加入率
松代	1,323	76.5	中子	18	69.2
小荒	108	70.6	芋島	102	84.3
太平	113	82.5	田野	142	64.3
菅刈	128	64.6	仙納	84	61.8
田沢	121	86.4	田代	122	98.4
小屋丸	48	84.2	筋平	127	82.5
池之畑	96	93.2	小貫	40	74.1
下山	127	85.8	諏訪	32	72.7
千山	291	81.1	寺田	126	64.9
池尻	77	78.6	名平	65	87.8
会沢	125	69.8	蒲生	366	83.6
清水	128	55.4	儀明	332	92.7
桐山	107	73.8	福島	141	86.0
蓬平	250	76.7	奈良	60	77.9
東山	23	65.7	室野	656	84.3
海老	121	82.9	竹所	73	59.3
犬伏	246	71.1	濁	37	54.4
孟地	69	68.3	峠	160	64.8
片桐	34	79.1	木和田	104	61.9
滝沢	63	92.6	計	6,385	76.8

加入資格、新潟県内に住んでおられる方はどなたでも加入できます。会費（掛金）は年額制で一人三五〇円です。年度の途中で加入しても同額です。

区長さんをおしてお知らせしてある手続方法は、みなさまのお手数を省くため、ご家族を記載した申込書を配布いたしました。ご家族に異動や県外転出で加入され

交通安全事故絶滅の願いをこめ交通安全運動が行なわれている甲斐もなく、悲惨な交通事故による死傷者のことが毎日のように報道されており、事故はいつどこで、皆様のご家族に、また、自身にふりかかってくるかも知れません。

相互たすけあいを目的に、みなさまのご理解により加入会員の数も年々ふえて、昭和五十年松代町の加入者は六、三八五名で人口比七六・八%の加入率、前年度より五・六%の伸長でした。

昭和五十一年度の加入手続は区長さんをおしておしらせしてあります。手続は早目に、ご加入をおすすめいたします。

昭和五十一年四月一日以後の事故から見舞金が増額になります。（別掲のとおり）

「会費」一日二円

あなたを守る交通災害共済

交通災害共済に家族そろって加入しましょう

加入申込書の記載例

(黒又は青のボールペンで書いてください。)

① 新潟県交通災害共済組合費払込書(加入申込書) ① 会 員 号

住所 新潟市医学町2番町 世帯主 申野太郎

加入者氏名	世帯主との続柄	生年月日	会費	加入者氏名	世帯主との続柄	生年月日	会費
甲野太郎	本人	44.11.3	350円	甲野昭一	長男	45.5.3	350円
花子	妻	5.1.15	350円	夏子	二女	23.7.8	350円
一郎	長男	17.9.13	350円	角栄	父	20.10.4	350円
京子	長男妻	18.12.12	350円				350円

昭和57年 〇月 〇日 計 6人 額収印
右のとおり払込みます。 計 2,100円

共済期間 昭和51年4月1日(4月1日以後の加入にあつては除金期間 収印日の翌日) から昭和52年3月31日まで

夏子さんが松代町の住民でなくなった場合は、抹消して下さい。

新たに加入される方は、空欄に記入して下さい。

見舞金の改正

等級	災 害 の 程 度	新金額	旧金額
1等級	死亡した場合	700,000	500,000
2等級	自賠責施行令別表の等級区分の1級各号に掲げる傷害の場合	400,000	300,000
3等級	治療を要した期間が6月をこえ、かつ、入院30日以上を含む実治療日数90日以上のもの	130,000	100,000
4等級	治療を要した期間が5月をこえ、かつ、入院21日以上を含む実治療日数75日以上のもの	100,000	80,000
5等級	治療を要した期間が4月をこえ、かつ、入院14日以上を含む実治療日数60日以上のもの	80,000	65,000
6等級	治療を要した期間が3月をこえ、かつ、入院7日以上を含む実治療日数45日以上のもの	60,000	50,000
7等級	治療を要した期間が2月をこえ、かつ、入院通院の実治療日数30日以上のもの	45,000	35,000
8等級	治療を要した期間が1月をこえ、かつ、入院通院の実治療日数15日以上のもの	30,000	20,000
9等級	入院・通院の実治療日数7日以上のもの	10,000	5,000

「相互助け合う」という目的をこ理解いただき、気の毒な被害者が一人でも多く救済されるためにも全町民のご加入を重ねておすすめていただきます。なお、県から五十年加入会員募集に優秀な成績を挙げた松代・儀明部落が金一封を添えた表彰を受けておりますことをご披露いたします。